

(書式 3)

全教科についての指導方法の課題分析と授業改善策

教科名	理科	教科主任	花井 多恵
-----	----	------	-------

1. 指導方法の課題と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画

<第1学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">身近な物理現象に関して、生徒の感覚を通して、捉えやすく日常生活や社会と関わり合いの深い教材を取り上げるようにする。初めて扱う機器が多くそれらの基本的な使い方を身に付けさせるようにする。科学的な思考を養い、生徒に主体的に実験・観察に取り組ませる。	<ul style="list-style-type: none">物理現象の観察・実験を取り入れる。また、ICTによる映像からの理解も取り入れていく。実験機器のパフォーマンステストを行い、全ての生徒に使い方をきちんと身に付けさせる。実験の予想を立てさせたり、実験計画を立てさせたりする。	<ul style="list-style-type: none">单元ごとに小テストを行い、学習の定着度を把握し、必要な生徒には補習テストを用意する。授業の单元のまとめや定期考査で入試問題を取り入れ、発展的な問題を解かせる。

<第2学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">小学校の既習事項や基礎学力の定着を徹底するためのワークシート等を使用し、知識・理解の向上を図る。個に応じた指導の充実を図りながら、言語活動を重視した学習を意図的・計画的に設定し、思考力、判断力、表現力の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none">教材や教具の工夫を基に、ただ興味や関心をもたせるだけでなく、教科書や授業の内容をきちんと理解させるために、教育機器やICTなどを効果的に活用し、より分かりやすい授業を追究していく。生徒同士で自らの考え方や発想を他者と話し合い考えを深めながら、実験結果を予想、分析、考察などを行う場面や発表の場面を多く取り入れ、言語活動の充実を図っていく。	<ul style="list-style-type: none">重要語句を繰り返し学習できるようなビンゴゲームを取り入れたたり(補充的)、学習のまとめりごとに小テストを取り入れたりしながら、知識の定着を図る。身に付けた知識を活用した生徒の実験計画を取り入れ、結果を理論的に考察する力を養う。

<第3学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">第3学年では、総合的な知識や理解が必要となる単元が多く、1、2学年の内容が定着していないと理解が難しいため、既習事項の確認が必要である。受験に理科が関係ない生徒に対しても学習意欲を高められるようにする。	<ul style="list-style-type: none">新しい単元に入る前に既習事項の復習問題を解かせ、内容の確認をしつかり行う。自分のつまずきはどこにあるのかを把握できるように、3年間の総まとめ問題集を活用しながら多様な問いに触れさせる。日常的な科学現象を取り上げることで、理科が生活に密接であることに気付かせる。	<ul style="list-style-type: none">生徒の協働的な学習を取り入れることで、他者の考えを聞いて自らの知識を整理するなど、社会に出た後に役立つ力を身に付けさせる。単元末においては、都立高校入試の出題例を取り上げ、具体的な問題の読み解きを支援する。